

会 議 録

会 議 の 名 称	第1回弘前市高齢者福祉計画・介護保険事業計画審議会
開 催 年 月 日	平成29年7月26日(水)
開 始 ・ 終 了 時 刻	14時00分 から 15時00分まで
開 催 場 所	弘前市役所防災会議室
議 長 等 の 氏 名	石澤 誠
出 席 者	会長 石澤 誠 副会長 中村 亨 委員 齋藤 武 委員 山中 朋子 委員 小野 穰 委員 木村 留次郎 委員 澤田 徳芳 委員 齋藤 拓 委員 小川 幸裕
欠 席 者	委員 山形 正臣 委員 三上 ナツエ 委員 柳田 光祥 委員 今 幸夫 委員 波多野 厚緑
事 務 局 職 員 の 職 氏 名	健康福祉部長 赤石 仁 健康福祉部理事 須郷 雅憲 介護福祉課長 三上 誠 介護福祉課長補佐 工藤 繁志 介護福祉課長補佐兼自立・包括支援係長 齊藤 隆之 介護福祉課主幹兼介護事業係長 山谷 互 介護福祉課主幹兼介護給付係長 川田 哲也 介護福祉課介護保険料係長 工藤 和法 介護福祉課高齢福祉係長 藤田 文明 介護福祉課主幹兼介護認定係長 佐々木 順一 介護福祉課介護事業係主査 廣田 洋平 介護福祉課介護事業係主査 蝦名 良平 介護福祉課介護事業係主事 玉田 彰 介護福祉課介護事業係主事 岸 陽香 福祉政策課長 今 敏行 福祉政策課主幹兼総務係長 田澤 千佳 健康づくり推進課長 一戸 ひとみ 健康づくり推進課成人保健・がん対策担当総括主査 澤居 吏香子
会 議 の 議 題	(1) 介護保険事業の実績について (2) 高齢者福祉事業の実績について (3) 日常生活圏域ニーズ調査結果について (4) 「地域包括ケアシステムの強化のための介護保険法等の一部を改正する法律」の公布について
会 議 結 果	下記会議録のとおり
会 議 資 料 の 名 称	資料1 弘前市高齢者福祉計画・介護保険事業計画実績報告

	<p>資料2 日常生活圏域ニーズ調査について</p> <p>資料3 「地域包括ケアシステムの強化のための介護保険法等の一部を改正する法律」の公布について</p>
<p>会議内容</p> <p>( 発言者、 発言内容、 審議経過、 結論等 )</p>	<p>1 開会</p> <p>2 委嘱状交付</p> <p>3 副市長挨拶</p> <p>4 会長及び副会長の選任</p> <p>5 案件</p> <p>6 その他</p> <p>7 閉会</p>
<p>(木村委員)</p>	<p>1. 開会</p> <p>2. 委嘱状交付</p> <p>3. 副市長挨拶 挨拶終了後、副市長退席。</p> <p>4. 会長及び副会長の選任 委員の互選により、指名推薦にて会長は石澤委員、副会長には中村委員が推薦され、異議なく承認された。</p> <p>5. 案件 (1) 介護保険事業の実績について及び(2) 高齢者福祉事業の実績について (事務局より資料1について説明)</p> <p>【以下 主な質疑応答】</p> <p>高齢者の健康・生きがいくつくりという事で、単位の老人クラブではなくて、地区老連として年2回健康講座をやっている訳ですが、これは、なるべく地域の公民館や集会所を利用してサークル活動を進めていきたいと思っています。</p> <p>その場合に、自分の地域に集会所や公民館があればいいのですが、隣の町会の集会所までは行きたくない人もいます。健康でも家から出たがらない方もいます。</p> <p>そういう点からして、町内の集会所を利用してサークル活動などの数を多くして、それを絡めて健康に繋がる話や高齢者からの要望を聞く機会を多く持ちたいと考えています。</p> <p>集会所や公民館の無い町会が、隣の町内の集会所を借りる場合に、単位の老人クラブでは、経費の中から利用料を出して活動している訳ですが、できれば地区老連としていろいろな会合というものを多く持</p>

	<p>ちたいと考えています。その場合に市からの補助はあるのでしょうか。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>私どもの方でお調べして、後ほどお伝えしたいと思います。</p>
<p>(会長)</p>	<p>他にご意見ご質問はありますでしょうか。</p>
<p>(山中委員)</p>	<p>介護予防の事業について質問になりますが、介護予防・自立支援というのは、将来のことを考えると、重要な事業だと思っておりますし、高齢者の健康づくりに関しましては、健康づくり推進課とともに連携しながら進めていると思っておりますけれども、20ページに記載されているものは、どちらかというところ、トレーニングとかパワーリハビリということなので、比較的元気な高齢者の筋力を衰えないようにするという施策が中心となっているかと思っております。</p> <p>お聞きしたいのは、高齢者健康トレーニング教室のマシントレーニングをされた方の実人数はどれくらいだったのか。あるいはパワーリハビリテーションの機器の導入に3年間で900万円程かけていて、パワーリハビリの指導者となる方も50人弱養成されていますが、その成果はどのように捉えていらっしゃるかお聞きしたいと思います。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>実人員は、3か所で延べ1,000人程の方が登録・利用されています。</p> <p>パワーリハビリテーションにつきましては、市の方でパワーリハビリテーションを推進するところ、補助を活用しなくても機器を導入している事業所もありました。</p> <p>また、補助事業を活用して機器を導入した事業所からは、情報交換の場が欲しい、もっと技術的な形で意見交換をする場が欲しいという意見もあり、協議会的なものを設置したいという話もありまして、設置に向けた事業者の取り組みを市の方でバックアップしているところです。今後、そのような活動が表れてくると思っております、一定の推進はされているものと評価しております。</p>
<p>(山中委員)</p>	<p>これは今後、健康づくり推進課と検討していただければと思うんですけども、よく言われている、サルコペニア、ロコモとかフレイルとか、身体的なものだけではなくて、社会的な部分のフレイルというものに対する対策も非常に重要だと言われているんですけども、特定の対象の方々にはいろいろ施策をやっていると思うんですけども、もっと幅広の、一般住民の方も高齢者の方も対象とした施策についても健康づくり推進課と連携しながら検討していただければと思っています。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>今後、健康づくり推進課と協議していきたいと思っております。</p>

<p><b>(会長)</b></p>	<p>他にご質問はありますでしょうか。</p>
<p><b>(小川委員)</b></p>	<p>資料の見方をお伺いしたいのですが、たとえば 10 ページの任意事業の成年後見制度利用事業の平成 29 年度の計画が 1,300 千円、実績が 5,200 千円という風に、計画と実績の数字が大分離れているところが他にも見られますが、実績見込みが多かったり少なかったりするるのであれば計画もそれに合わせていけば良いのではないかと考えているのですが、そのように見ればよいのですか。</p>
<p><b>(事務局)</b></p>	<p>たとえば成年後見制度ですけれども、第 6 期計画を策定した時は、第 5 期計画期間の実績等から予算見込みを推計しております。今回、実績が計画値を上回ったのは、計画策定時と比較してその事業に関するニーズが高まったというふうに考えております。</p> <p>1,300 千円というのは計画を作る段階での予算見込みということで見て頂ければと思います。</p>
<p><b>(小川委員)</b></p>	<p>では、たとえば前年度の実績が平成 28 年度だと、3,096 千円だとそれに合わせておかないと予算が足りなくなるのではという心配をしてしまうのですが、その辺はどうですか。</p>
<p><b>(事務局)</b></p>	<p>予算が足りなくなる場合には補正予算を組んで対応しております。</p>
<p><b>(会長)</b></p>	<p>他にご意見ご質問はありますか。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは（３）日常生活圏域ニーズ調査結果について事務局から説明をお願いします。</p>
<p><b>(事務局)</b></p>	<p>（事務局より資料 2 について説明）</p>
<p><b>(会長)</b></p>	<p>只今の事務局からの説明に対し、ご質問ご意見などありましたらお願いいたします。</p> <p>無いようなので、それでは次に案件（４）「地域包括ケアシステムの強化のための介護保険法等の一部を改正する法律」の公布について事務局から説明をお願いします。</p>
<p><b>(事務局)</b></p>	<p>（事務局より資料 3 について説明）</p>
<p><b>(会長)</b></p>	<p>只今の事務局からの説明に対し、ご質問ご意見などありましたらお願いいたします。</p>

<p><b>(会長)</b></p>	<p>介護療養院が新設されますけれども、従来の介護療養型病床を転換するだけのことですか。それとも全く新たに新設するのでしょうか、また、ベッド数を増加させるとか、そのようなことは有りうることなのでしょうか。</p>
<p><b>(事務局)</b></p>	<p>県の方で地域医療計画を策定していますが、いわゆる 2025 年問題に象徴されるように、超高齢社会が参ります。そうなりますと介護のニーズが非常に高くなります。会長のおっしゃるように回復期のベッド数が足りなくなりますので、急性期から回復期に移行していくという考え方でやっていくというものでございます。</p>
<p><b>(会長)</b></p>	<p>他にご質問などはございますでしょうか。 無いようですのでその他全体を通してご質問などはございますでしょうか。</p> <p>6. その他</p>
<p><b>(齋藤委員)</b></p>	<p>資料1の17ページ、包括的支援事業ですが、地域包括支援センターは市内に7か所、在宅介護支援センターが窓口ということで16か所あるようですが、在宅介護支援センターにも地域包括支援センターと同様に委託料や事業費などは出されているのでしょうか。</p>
<p><b>(事務局)</b></p>	<p>在宅介護支援センターにつきましては、市から直接委託費を払っているものではございませんけれども、包括支援センターに委託している事業費の中から、包括支援センターが必要と認めた場合に窓口機能の部分について包括支援センターからその分のお金が渡っているという形でございます。</p>
<p><b>(会長)</b></p>	<p>在宅介護支援センターの活動について何かご意見はございますか。</p>
<p><b>(齋藤委員)</b></p>	<p>在宅介護支援センターは窓口としてということであったので、どの程度まで在宅介護支援センターが活動されているのかなということがこの資料では見ることが出来ませんでしたので質問しました。</p>
<p><b>(会長)</b></p>	<p>在宅介護支援センターは、非常によく訪問して、こまめに動いているようでございまして、私としては地域の福祉を作るために非常によく活動していると考えております。</p> <p>他にご意見ご質問はありますか。</p>

<p>(小川委員)</p>	<p>資料1の24ページ、介護サービスの相談体制の強化について、介護相談員の方が施設を訪問して成果を上げていらっしゃるということですが、現在の訪問先は特養、老健を中心にしているということは聞いています。</p> <p>今後の訪問先として、有料老人ホームを対象として支援していくということが重要かと思いますがいかがでしょうか。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>現在は特養、老健、市内21か所ございますけれども、そのうちの15か所に訪問しております。</p> <p>現在はそちらの施設を相談員派遣事業の対象としてやっていこうと思っております。</p> <p>ゆくゆくは有料とかそちらの方と介護保険サービスの施設の方にも派遣したいと考えておりますけれども、相談員が7～8人ということでございますので、今のところはまだ…。これからそちらの方に進んでいきたいという希望はございます。</p>
<p>(小川委員)</p>	<p>わかりました。人数も限られているということでございますので、優先順位を付けて、たとえば特養、老健だと様々なチェックが入りやすいと思いますが、有料はチェックが入りにくい状況の施設だと思いますので、優先順位としてはまず先に有料を入れていただいた方がいいのかなという感じがしますので、可能であればご検討いただければと思います。</p>
<p>(会長)</p>	<p>私も有料の中身が見えづらいといつも感じておりますので、是非お願いできればと思っております。</p> <p>他にご質問等がありますか。</p> <p>無いようですので案件(4)を終わらせていただきます。これもちまして本日の案件は全て終了いたしました。皆様、ご協力ありがとうございました。</p> <p>7. 閉会</p> <p>今回は、9月末開催予定。</p>
<p>その他必要事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議は公開である。</li> <li>・傍聴者数6名</li> </ul>